

上北沢桜並木通信 第 10 号

平成 18 年 アンケート調査報告

桜並木に関するアンケート調査結果を報告します。

このアンケートは、今年 3 月～4 月に行ったものです。

対象とした人（世帯）は約 1,800 人（世帯）です。アンケート配布は、町会等のご協力をいただき、上北沢 3 丁目全域、1 丁目、4 丁目、並びに 5 丁目の一部を行いました。また、桜まつり当日に路上で配布したものと、桜並木会議にメールアドレスを登録いただいた方にもお願いしました。

回収数は集計段階で 553 票（回収率 31%）、その後の回収を含めると約 600 票となりました。

皆様のご協力を感謝いたします。

ま と め

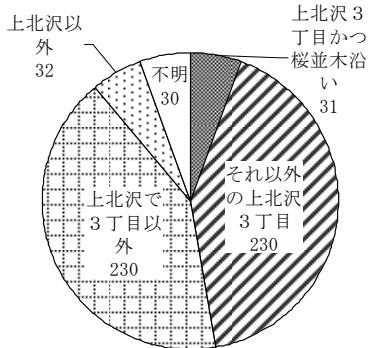
- 「桜木はソメイヨシノを踏襲すること」が多数である。
- ファミリーマート付近にも植栽することに賛同が多い。
- 「ポイ捨て防止」に関し、「禁煙地区の実現」に対する賛同割合は 90% を超えている。とくに、女性は男性に比べてその割合が大きい。
- 桜並木を「歩行者のための安全な道路」にするための施策としては、「駐車の取締強化」が最も多くの賛同を得ている。
- 桜並木会議の活動については、「認知度」はまだまだ低く、今後の広報活動に期待する声も多い。

回答いただいた方のプロフィール

【お住まい】

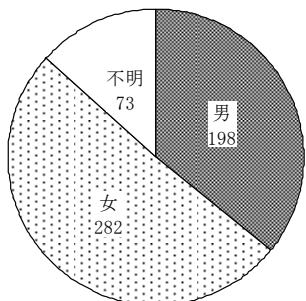
上北沢 3 丁目で桜並木沿いは 31 人、上北沢以外は 32 人で、それぞれ回答者の約 6% である。

沿道以外の上北沢 3 丁目および上北沢 1・4・5 丁目はそれぞれ 230 人（42%）である。



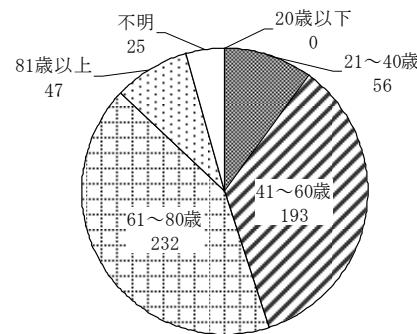
【性 別】

男性 198 人、女性 282 人であり、不明を除く割合は、概ね 4 対 6 である。



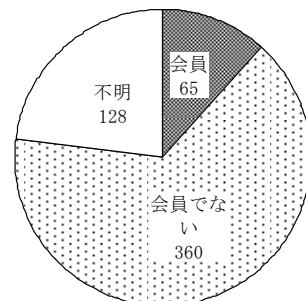
【年 齡】

61～80 歳のランクが最も多く 232 人（42%）、ついで 41～60 歳のランクで 193 人（35%）である。21～40 歳と 81 歳以上のランクは 9～10% でした。20 歳以下のランクもアンケート回答欄には用意しましたが、それは 0 である。



【会 員】

桜並木会議の会員は 65 人で全体の 12% であり、会員でない人が 360 人（65%）である。

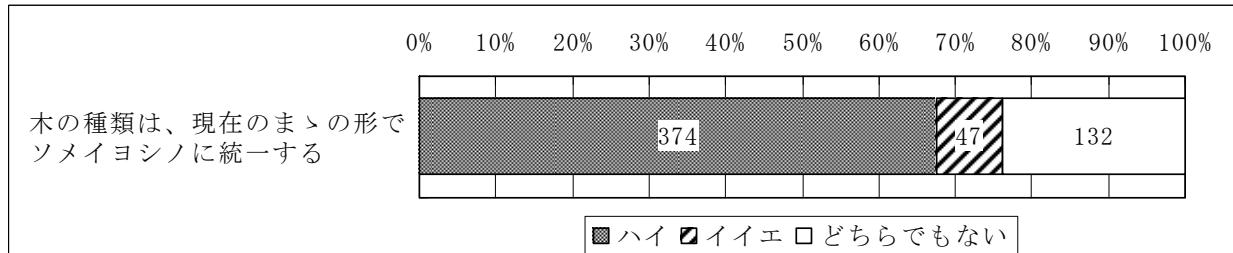


桜並木の現状について

1. 桜木の種類について

(1) ソメイヨシノを今後とも踏襲する予定ですが、桜木の種類についてお聞きします。

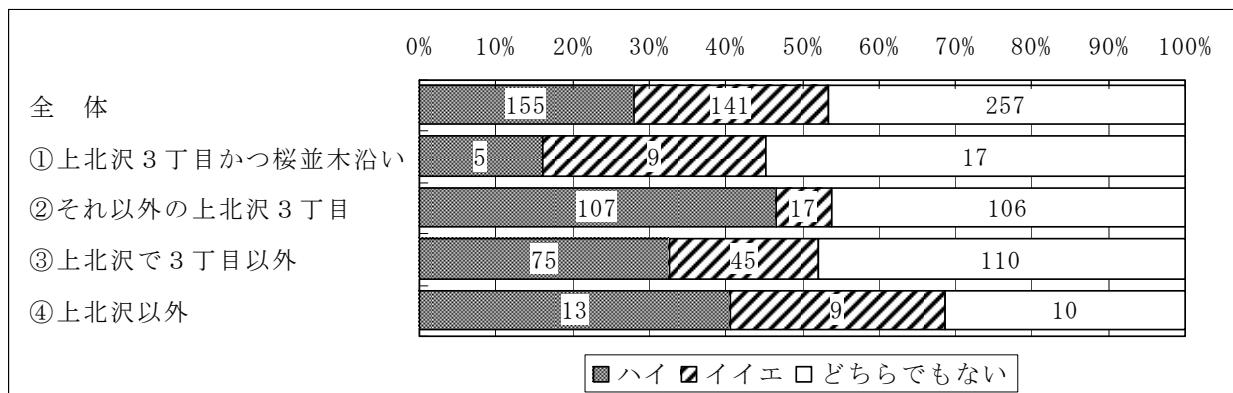
全体でみると2／3の人が「現状のまゝソメイヨシノに統一」であり、それを否定する人は1割に満たない。



桜木の種類を多くして、長期間花が咲いている桜並木にする。

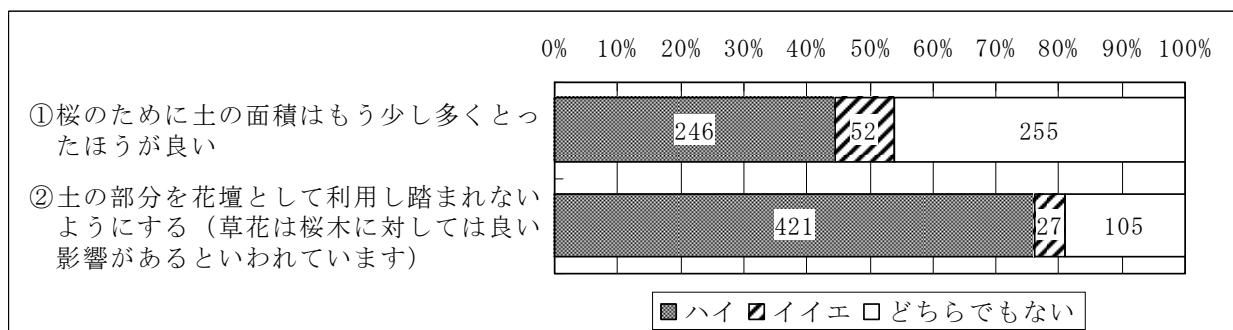
種類を多くして長期間の開花を期待する人も30%弱あり、上記とは矛盾した形となっている。

地域別にみると、上北沢3丁目で並木沿道以外の人が「種類を多くする」ことを望んでいる割合が多い。



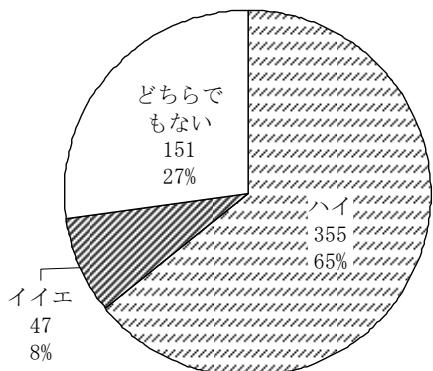
(2) 桜木の根元は道路の中で土の面積が限られ、土の部分は人や自転車に踏み固められている。

土の面積を広くすることは、約半分の人が賛成を示し、土の部分を花壇として利用することに反対する人は5%に満たない。

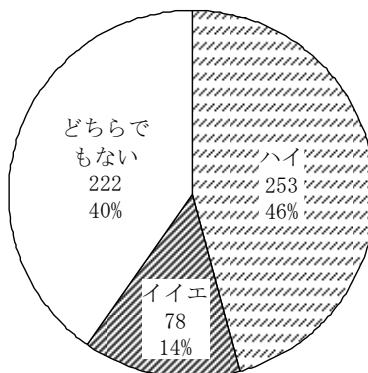


(3) 樹の本数について。現在は49本です。

①ファミリーマート付近の区画
にも適当な間隔で桜を植える



②踏切付近の広場に接して、何本
か桜を植える

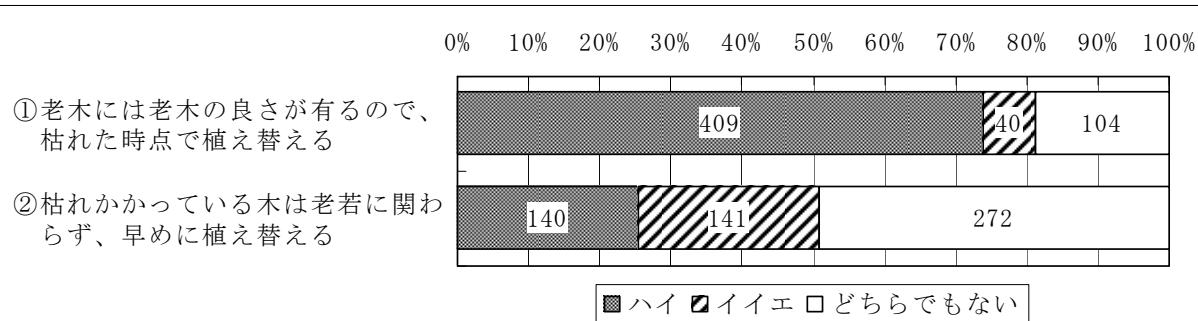


ファミリーマート付近に植えることに関する調査では、2/3の人が賛成している。

しかし、踏切付近に植えることに関する調査では、年輩の方々の賛同を得られず、全体での賛同割合は1/2以下である。

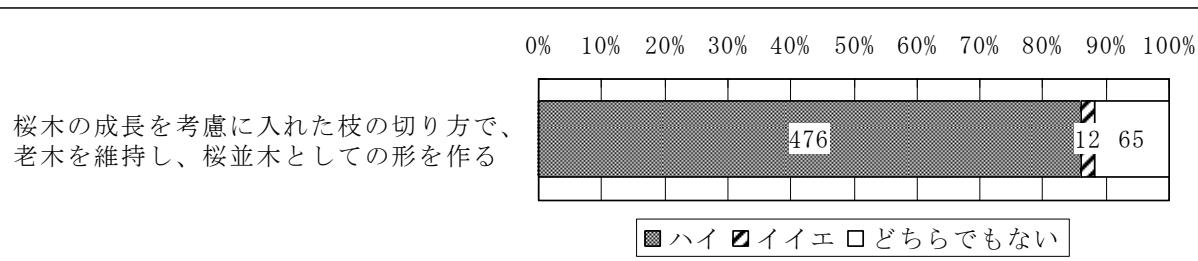
(4) 80年経った老木、病気の木、枯れかかった木、それぞれの桜木の植え替えについて。

老木の植え替え時期は、「枯れた時点で」ということに多くの賛同が得られている（74%）。



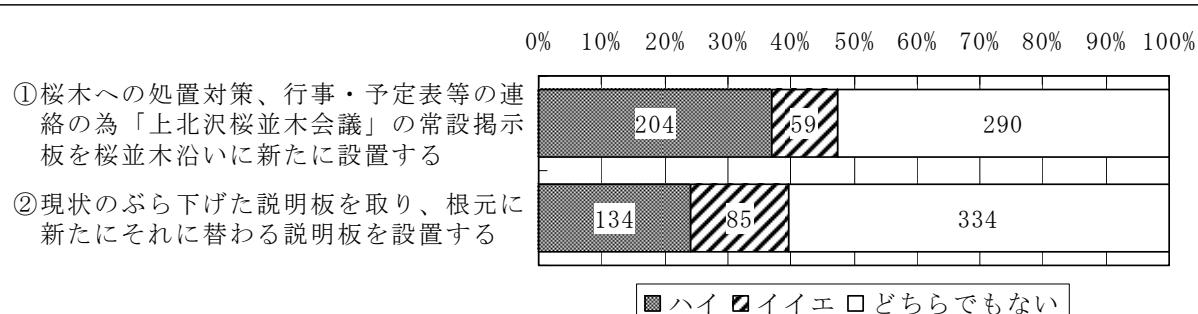
(5) 樹形（桜並木の形）や桜木の管理について。

桜並木の樹形は、車の通行優先よりも「老木を維持し、桜並木としての形を作る」ことに86%以上の賛同を得られている。



(6) 現在、木の健康状況や処置対策を示す説明板を木にぶら下げています。

説明板の意図が充分伝わっていないため、「不明」の割合が多いが、何らかの説明板をつけることに関する賛同は得られている。

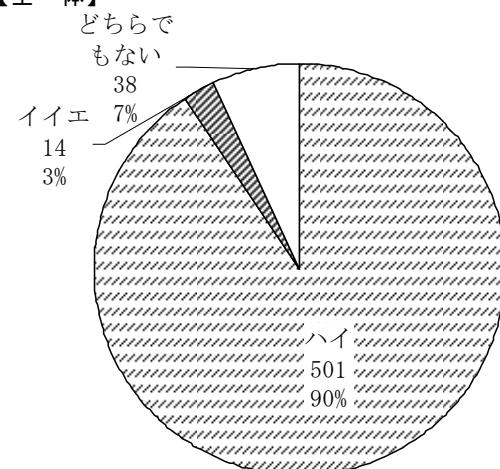


(7) 世田谷区には、平成10年から「ポイ捨て防止等に関する条例」があります。桜並木においては桜木の根元にタバコが捨てられ、桜木に対する成長阻害ばかりでなく、美観を損ない、歩きタバコは老人や幼児への被害の恐れもあります。

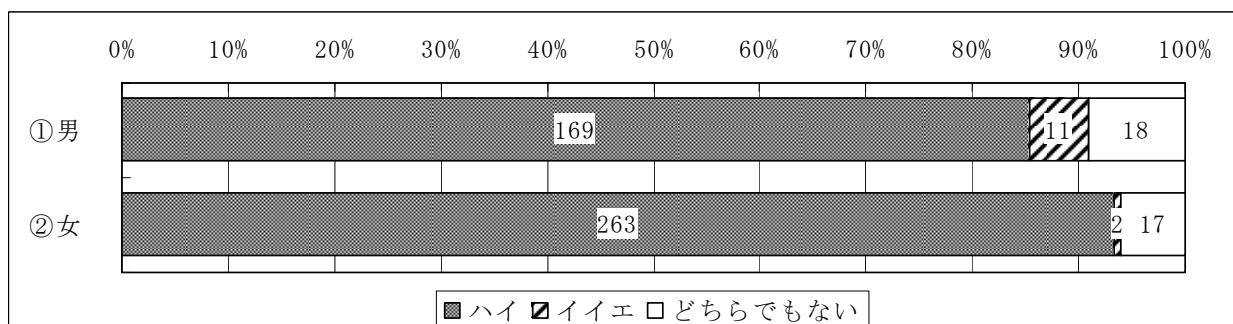
—「路上禁煙地区」(歩きながらの喫煙による迷惑を防止) 指定実現に注力する—

- ・全体では、禁煙地区実現に対する「ハイ」(肯定) が90%と圧倒的に多い。
- ・性別にみると、女性の方が「ハイ」が若干多い。一方、男性の「イイエ」(否定) が6%と多く、特徴的である。
- ・年齢別にみると、21～40歳のクラスが「ハイ」が多く、41～60歳のクラスが他の年代に比べて「イイエ」の割合が多い。
- ・住まい別にみると、当然の結果ながら沿道の方の「ハイ」の割合が多く、上北沢以外の割合は比較的少ない。

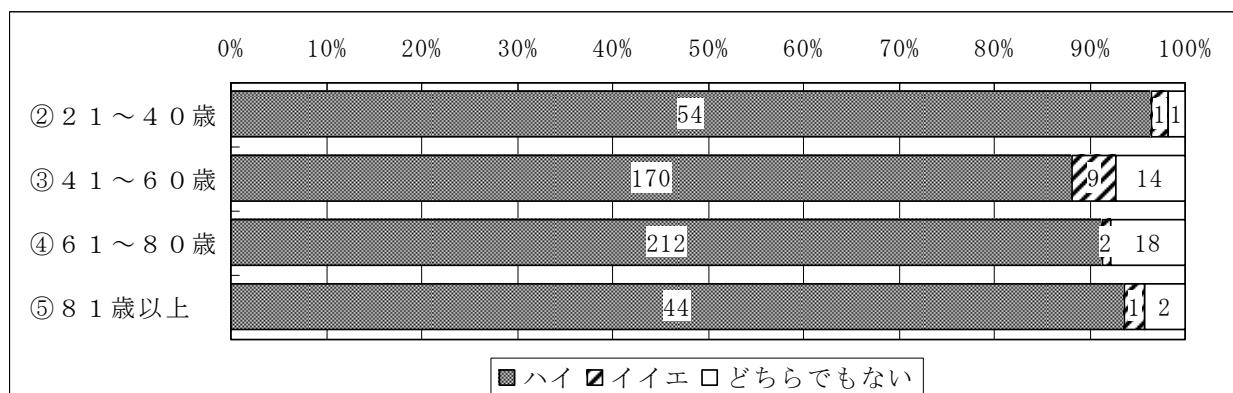
【全 体】



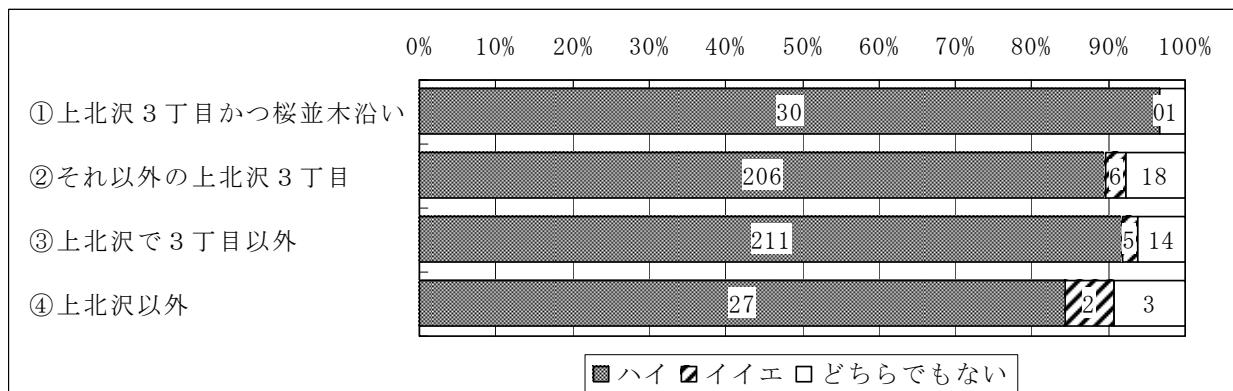
【性 別】



【年 齢】



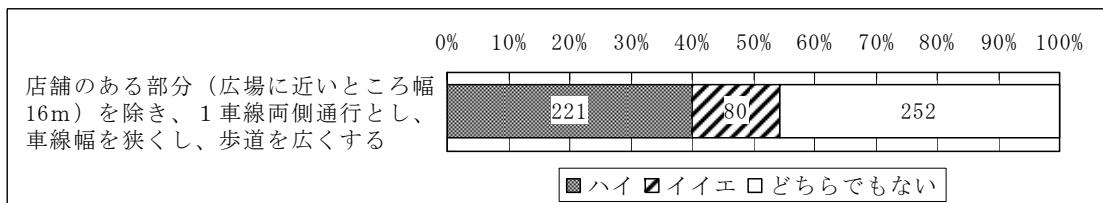
【お住まい】



桜並木の道路利用について

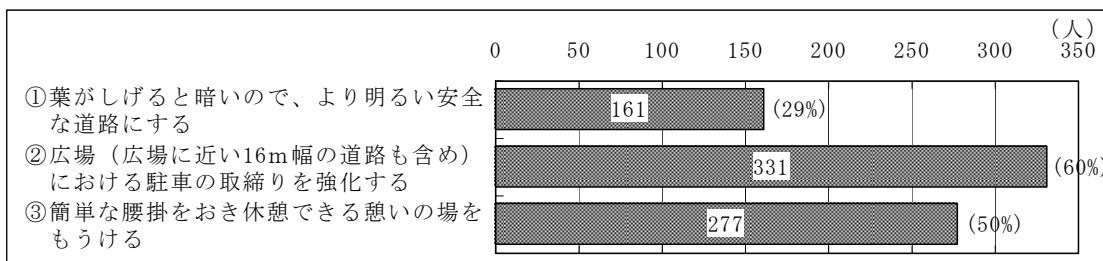
(1) 現在の並木道は2車線あり、両側通行です。

1車線道路に賛同する人は約40%あり、反対の人(14%)を大きく上回っている。



(2) 歩行者や住民のための<安全安心な道路>を目指して。

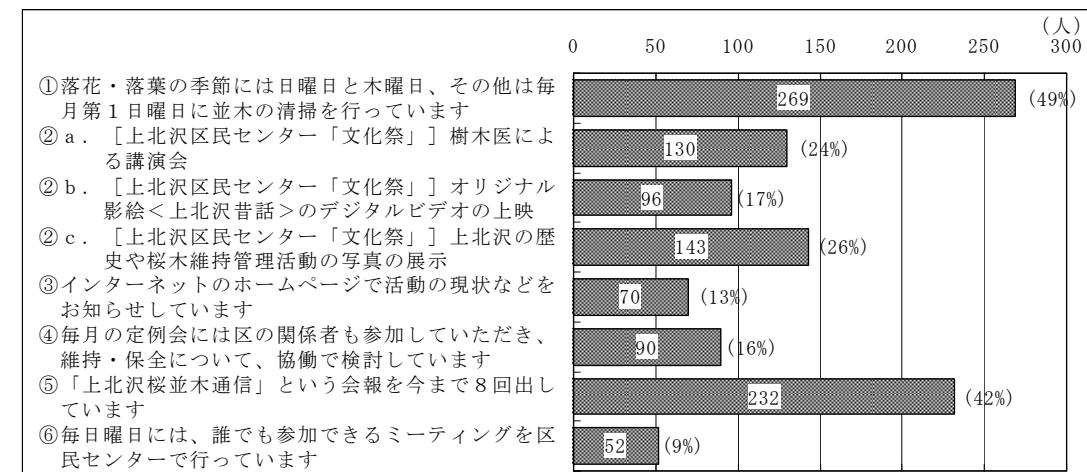
桜並木の案税制に関しては、「駐車の取締強化」が最も多く、60%の人が賛同している。ついで「腰掛けの設置」も50%の賛同を得ている。



桜並木会議の活動について

(1) 以下の活動の中で、何らかの形で聞いたり見たりしたことがあるものに○をつけて下さい。

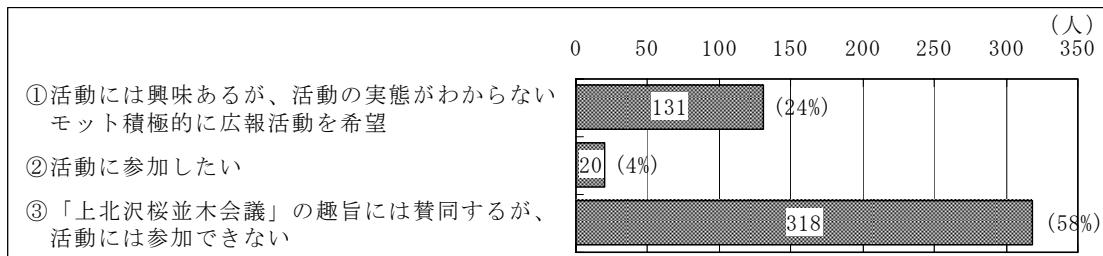
「桜並木会議の活動」の中で最も浸透しているのは、「清掃活動」(49%)であり、ついで「会報の発行」(42%)である。残念ながら、「ホームページ」、「日曜ミーティング」の認識度は1割前後である。



(2) 2年を経過した活動の評価と今後のあり方について。

広報活動を希望している人は、131人(24%)である。

「活動の趣旨には賛同するが、活動には参加できない」人が多く、50%以上であり、活動に参加したい人は20人と少ない。

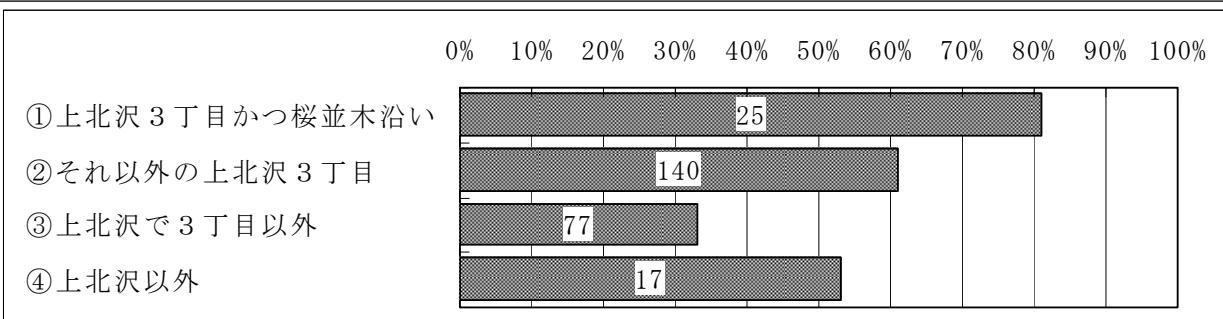


「桜並木会議活動」に関する住まい別の集計

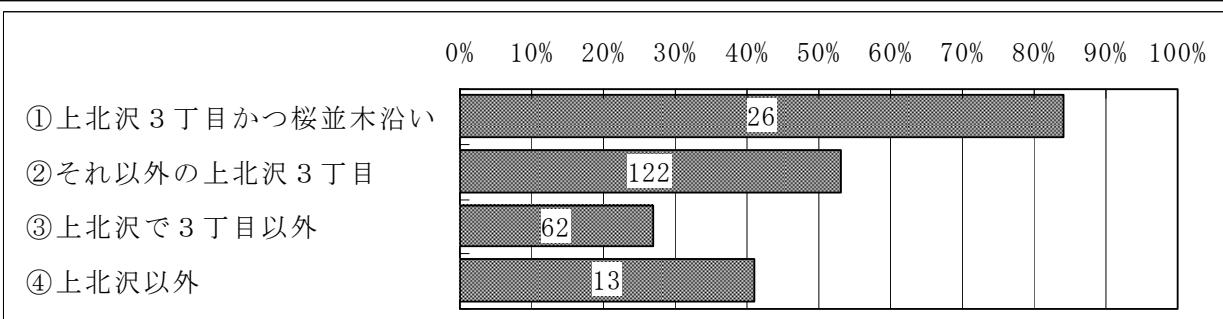
この活動の認識度を地域別にみると、当然ながら地元の人の割合が大きいが、メール、会報等で連絡している人も含まれるため、「上北沢以外の人」の割合も比較的大きくなっている。

(1) 以下の活動の中で、何らかの形で聞いたり見たりしたことがあるものに○をつけて下さい。

①落花・落葉の季節には日曜日と木曜日、その他は毎月第1日曜日に並木の清掃を行っています

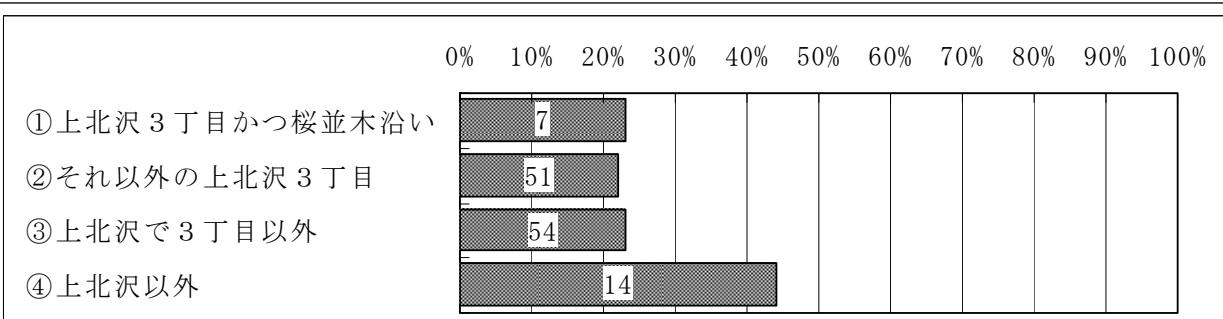


⑤「上北沢桜並木通信」という会報を今まで8回出しています

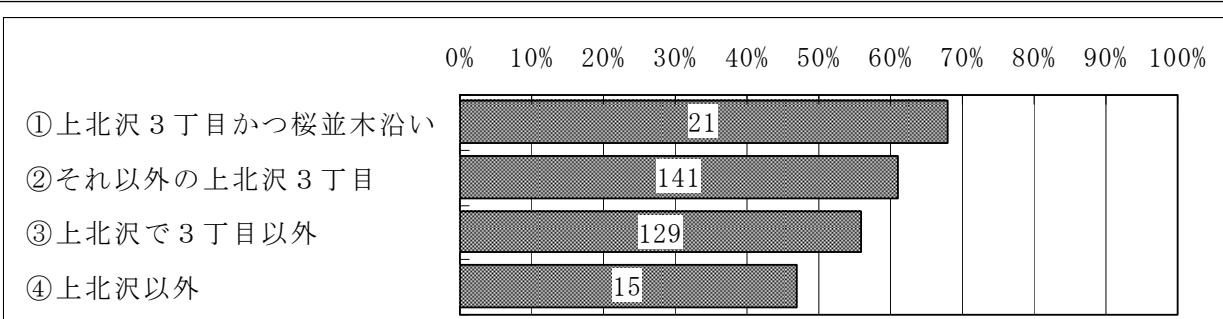


(2) 2年を経過した活動の評価と今後のあり方について。

①活動には興味あるが、活動の実態がわからないモット積極的に広報活動を希望

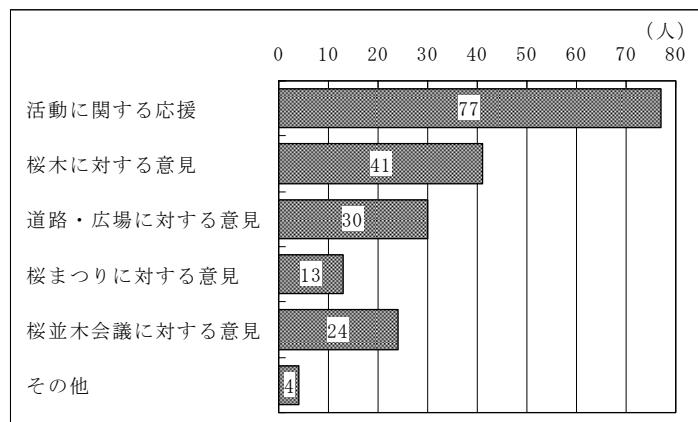


③「上北沢桜並木会議」の趣旨には賛同するが、活動には参加できない



フリーアンサーのまとめ

- フリーアンサーは、553人中161人（29%）が記入している。
- その内、77人（記入者の48%）の人々が桜並木会議の活動に対する「感謝、お礼、応援メッセージ」であった。
- その他は、個々の意見であり、大きくは5つに分けられる。



- ・桜木そのものの今後のあり方・意見・要望（花壇部分も含めて） [41人：25%]
- ・道路や広場部分の今後の対応や街づくりに対する意見・要望 [30人：19%]
- ・桜まつりそのものに対する意見・要望 [13人：8%]
- ・桜並木会議の活動に対する意見・要望 [24人：15%]
- ・その他の意見 [4人：2%]

① 桜木・並木そのものに対する意見・要望

- 「毎年花見が出来るように見守りたい」、「これからも楽しませて欲しい」という期待が26人と最も多い。
- 「老木の手入れをしっかりやって」が3人。
- 桜の樹種に関しては、「ソメイヨシノに統一」が2人、「いろいろな樹種を」が1人、「桜は害が多いので緑の多い他の木を」が1人である。
- 「3丁目以外にも植えて欲しい」が3人（4、5丁目の人）。
- 桜木の根元に作られている花壇については、花壇に「賛成」、「反対（ゴミ・タバコが捨てられるので）」、「ガーデニング様式は反対」が、それぞれ1人等でした。

② 道路・広場・街づくりに関する意見・要望

- 道路の交通規制に関する意見・要望は8人。
- 駐車禁止の取締強化の要望は5人。
- 都計道（215号）に反対する意見は3人。
- 都計道協議の会と桜並木会議との情報交換や協力を願う意見が3人。
- その他は、歩道を分離することには反対、電線の地中化、街路灯を増やして等。

③ 桜まつりに関する意見・要望

- ・「騒音、ゴミの問題があるので、まつりには反対」が7人。
- ・「桜木にかけているちょうどちんは不需要」が3人。

④ 桜並木会議の活動に関する意見・要望

- 「活動資金を集めよう工夫を、あるいは資金協力したい」が7人。
- 「桜並木をもっと宣伝して多くの人に集まってもらう」が4人。
- 「活動そのものをアピールする」が2人。
- 「桜コミュニティを」、「環境・モラル・安全の活動を」が2人。
- 「何か役に立ちたい」、「時間がとれたら協力する」が4人。
- その他は、桜並木憲章を作る、車やタバコの問題まで言及するのは、活動の広げすぎである等

桜並木会議からのお知らせ

総会のお知らせ（はじめての方でも、どなたでも参加できます）

日 時：7月23日（日） 13:30～16:00 上北沢区民センター多目的ホール

- 内 容：
- ・桜並木の現状と今後の活動計画
 - ・影絵の映写（地域の昔話）
 - ・地域課題の討議

世田谷まちづくりファンドから助成決定

公益信託世田谷まちづくりファンドは、世田谷区内の住民による主体的なまちづくり活動に助成をしています。

上北沢桜並木会議では、一昨年からこの助成に応募し、過去2年間で約61万円の活動資金の助成を受けました。

今年も「まちづくり活動部門」に応募しました。

6月10日（土）に上記の公開審査会が三茶しゃれなあとホールで行われました。

発表時間はわずかでしたが、会員の方々の応援とともに、過去の実績を報告し、これから計画を示しました。

その結果、今年も37万8千円の助成を受けられることが決まりました。

この助成は、3年間が限度です。

来年度以降は独自の資金集めを行い、さらなる活動を展開する必要があります。

皆様の力強いご支援に感謝申し上げます。



上北沢桜並木会議とは？

上北沢の桜並木は、開花時期の美しさもさることながら、季節ごとの変化は見る人の心を癒し、地域にとって誇れる将来に残したい財産となっています。しかし、この桜並木は近年弱りはじめています。この貴重な財産を残すためには、地域のいろいろな人々の意見や知恵を集め、具体的な活動をはじめなければなりません。

上北沢桜並木会議は、並木の維持保全に住民と行政の協働で取り組むとともに、これをきっかけとして地域のまちづくりを考え、「桜を見守るコミュニティ」をつくっていこうという取り組みです。

<http://www.sakuranamiki.org/> 連絡先：和田和典 3302-6959 佐藤信二郎 3290-2660

お問い合わせ：info@sakuranamiki.org

●桜並木会議では、会員の数を増やし、地域コミュニティの創生を考えています。

桜並木会議が行う行事・ミーティング等に、是非ご参加下さい。

●桜並木会議では、活動資金のご協力をお願いしています。

●アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。